

令和3年1月20日

芦屋市企画部市民参画課
課長 川口 弥良 様

(あしや市民活動センター指定管理者)
特定非営利活動法人あしやNPOセンター
事務局長 橋野 浩美

防災倉庫の映像化報告書

- 1 日時：令和2年6月～令和3年1月
- 2 会場：リードあしや 浜風小学校
- 3 担当：橋野
- 4 参加者：26人（クラーク記念国際高等学校防災部7人 芦屋映像倶楽部あしぞう5人 ふとっちょの木1人 芦屋防災士の会2人 あし笛4人 防災安全課4人 芦屋市教育委員会1人 職員2人）
- 5 協力：浜風小学校 芦屋市社会協議会
- 6 事業詳細
 - (1) 目的：災害時に誰でも利用できる防災倉庫であるために、倉庫内の用具と用具の使い方を映像化する。
 - (2) 内容：全体会議2回 下見2回 撮影2日 アフレコ1日 試写会1回
- 7 振り返り
 - ・コロナ禍の中ではあったが、多くの団体に協力をいただき完成できた。特に出演したクラーク記念国際高等学校防災部の学生、芦屋市防災士の会の方々には大きなお力添えをいただいた。
 - ・防災倉庫映像を撮りたいという芦屋映像倶楽部あしぞうの想いと、芦屋の状況を伝えたい当方の想いが重なり、今回の映像が出来上がった。コミュニケーション不足のところもあったが、最終的には良いものが出来上がり、参加者が満足した。
 - ・撮影時にはクラーク生が参加者へのインタビューを試み、記事も仕上がった。読売新聞にも取り上げていただき、広報効果はよかった。
 - ・広報として、ポスター・チラシを、庁内、芦屋市社会福祉協議会などに配架依頼を出した。見ていただいた方からは高評価をいただいた。
 - ・次年度は、国際都市芦屋と言われるように、多言語テロップを付け加える作業をし、より良いものに仕上げたい。

以上

